

例会日：毎週木曜日 12 時 30 分
例会場：岐阜県郡上市八幡町小野 67(八幡建設 2F)
TEL (0575) 67-0314 FAX (0575) 67-0005
E-mail:rc-8man@abeam.ocn.ne.jp
URL:http://gujohachiman-rc.com/

会 長 : 岩尾 誠
副 会 長 : 水上成樹
幹 事 : 三原慎也
公共イメージ : 西川 昇
会報担当者 : 長尾信幸・河合和也

2020 年度国際ロータリー会長：ホルガー・クナーク (Herzogtum Lauenburg-Mölln ロータークラブ・ドイツ)

2020 年度国際ロータリーテーマ：Rotary Opens Opportunities(ロータリーは機会の扉を開く)

<本日のプログラム>

第 2685 回 令和 2 年 10 月 15 日 第 3 木曜日
外来卓話 ハローワーク岐阜八幡
有井弥生様

<次回の予定>

第 2687 回 令和 2 年 10 月 29 日 第 5 木曜日
会員卓話 大川達也会員

<前回の記録>

第 2684 回 令和 2 年 10 月 8 日 木曜日
会員卓話 松本英樹会員
國田大雄会員

司 会 進 行	酒井智義副 SAA
点 鐘	岩尾 誠会長
ソ ン グ	我等の生業

出席報告 大川達也出席担当責任者

会員数	出席	補正	出席合計	出席率
39名(免除2名)	33名	5名	38名	97.4%

ニコBOX 山下友幸ニコ BOX 担当責任者

・松本君、國田君 卓話宜しくお願ひします。

岩尾 誠
松本英樹
・卓話です。お願ひします。
・本日、卓話です。宜しくお願ひします。國田大雄
・國田君、卓話代わって来てありがたう。宜しく
お願ひします。P.S ゴルフ始めましょう。西村 肇
・村井君ようこそ!!入会おめでたうございませう。

野田三津雄
・会員誕生日のお祝をありがたう。 野田三津雄
・本日の卓話 松本君、國田君宜しくお願ひします。

遠藤一史・畑中伸夫・林 健吉・平岩憲政
広瀬泰輔・岩出明喜・河合和也・川井昭司
前田伊三夫・松森 薫・松良 努・三原慎也
水上成樹・森下 光・村井裕孝・村土時男
長尾信幸・野田三津雄・小笠原正道・大川達也
酒井智義・坂本 仁・竹内巧治・田中義久
田代東次郎・和田英人・渡邊 剛・山下友幸

幹事報告 三原慎也幹事

- ・RI 日本事務局経理室より、2020 年 10 月 RI レー
トのお知らせ 1 ドル=105 円
- ・RI 日本事務局より配信履歴
- ・ガバナー事務所より、職業奉仕委員会研修セミ
ナー開催のお知らせ
- ・郡上長良川 RC より GTM 報告・DVD
- ・関、美濃加茂 各 RC より例会変更・休会のお知
らせ

<拝受>

- ・美濃、不破、美濃加茂 各 RC より週報
- ・ぼこあぼこより「ぼこあぼこだより」24 号

委員会報告 広瀬泰輔親睦委員長

- ・新会員歓迎会について

会長の時間 岩尾 誠 会長



皆さん、こんにちは。まずは
報告ですが、10 月 3 日に郡上八
幡ロータリークラブ旗争奪郡上
市中学校野球大会に出席してき
ました。3 チームが参加して、
優勝が白鳥 BBC、準優勝が八幡中学校、三位が郡
南でした。行ってみますと、野球連盟の会長さん
からロータリーへお褒めの言葉を頂いたりして、
ロータリークラブ旗争奪ということを実感しまし
た。色々気付いたことは、来年度の会長さんへ
の申し送り事項にします。もう一つ、例年より少
し早いですが、来週、郡上市図書館はちまん分館
へロータリー文庫書籍の寄贈へ行きますので、よ
ろしくお願ひします。

会員卓話 松本英樹会員



本日の卓話、よろしく申し上げます。先月ですが、劇毒物の試験を受けてきました。今年の6月くらいから少しずつ勉強していました。その時の参考書を見ながら、今日はお話させていただきます。

私の仕事である塗料販売には、危険物取扱と劇毒物取扱の2つの資格が必要です。危険物は消防関係の資格で、劇毒物は保健所関係の資格になりますので、申請手続き等はそれぞれ消防署、保健所で行います。各都道府県で実施される劇毒物の試験に合格すると、劇毒物取扱責任者になれます。薬剤師や応用化学を学んだ大学生や専門学生などは自動で有資格者となります。劇毒物取扱責任者になれない人もいます。18歳未満の方、心身の障害のため劇毒物取扱者の業務を適正に行えない方、麻薬・大麻・覚せい剤などの中毒者、薬事法に関する犯罪で捕まった人などです。18歳未満の方は試験を受けることはできますが、合格しても19歳にならないと取扱責任者にはなれません。試験の種類には、一般・農業用品目・特定品目があり、私は今回、一般劇毒物を受けました。これは、全ての劇毒物が取り扱えるというものです。この試験は、都道府県ごとに年に1回、2時間で60問くらいで全体の60%を取れば合格です。試験科目は、毒劇物に関する法律、基礎化学、毒物及び劇物の性質及び貯蔵法です。毒物・劇物の定義として、毒物及び劇物取締法という法律があります。その目的は、毒物、劇物は保健衛生上の見地から必要な取締を行うことで、保健所の管轄となります。もう一つ、医薬品及び医薬部外品は毒物・劇物に含まれません。主な毒物としてよく知られているのは、シアン化水素、水銀、ヒ素、ニコチンなどです。劇物では、塩化水素、カリウム、水酸化カリウム、水酸化ナトリウム、ナトリウム、ホルムアルデヒド、ホルマリン水溶液、メタノール、硫酸などがあります。毒物、劇物以外に特定毒物という、毒物のうちで特に毒性が強いものがあります。四アルキル鉛、パラチオン、テトラエチルピロホスフェイトなどがあります。特定毒物には、着色基準があり、それぞれ色が決められています。興奮、幻覚、麻酔の作用を有する毒物、劇物には、トルエン、酢酸エチル、トルエン又はメタノールを含有するシンナーなどがあります。発火性のある毒物、劇物には、亜塩素酸ナトリウム、塩素酸塩類、ナトリウム、ピクリン酸などが指定されています。登録の種類として、製造・輸入・販売業

があります。製造業・輸入業は厚生労働省へ登録して、私たち販売業は県に登録するので保健所で手続きをします。製造業・輸入業は5年、販売業は6年で登録の期限が切れます。届出は必要ありませんが、劇毒物の表示、廃棄、運搬等にも規定があります。誤飲をさけるため、ペットボトルや調味料などの瓶に入れて販売してはいけません。表示方法は、赤地に白文字で「医薬用外毒物」、白地に赤文字で「医薬用外劇物」と表示します。また、毒劇物の名称、成分及び含有量、解毒剤の名称も表示しなければなりません。廃棄方法には、中和、加水分解、酸化、還元、希釈などがあります。ガス体の物は、保健衛生上の危害を生ずるおそれがない場所で少量ずつ放出する、可燃性の物は同じく少量ずつ燃焼させることとなっています。運搬方法についても細かい規定がありますが、またの機会にお話ししたいと思います。ありがとうございました。

会員卓話 國田大雄会員



いつもなら、この卓話で美術館のお話をさせて頂いていますが、このコロナで美術館へ行くこともできなくて、ここで紹介することができず残念です。イベントや思い出になるようなことも少なく、今回の卓話をどうしようか悩んでいました。先ほど松本さんがお話されました、劇物毒物取扱責任者の資格ですが、私も30年以上前の高校生の時に取りました。家の仕事がスクリーン印刷ということもあり、トルエンやメチルアルコールなどを取り扱っているのが、将来的に役立つかなと思ってチャレンジしました。他にも高校生の時に危険物取扱者乙4を取り、実際に役に立っています。毒劇物を瓶に詰めてはいけないと、先ほどのお話にもありましたが、私にも事件がありました。自宅が作業場だったのですが、栄養ドリンクの瓶に有機溶剤が入れてあり、私がそれを誤って飲んでしまったことがありました。笑い話になっていますが、死ぬ手前だったと親から聞かされました。そんな経験もあり、改めて危ないなと思いました。

話は変わりますが、スクリーン印刷の中でも組合があり、それに伴い業界誌があります。その業界誌の表紙を各組合で廻して、各社で作成しています。今回我が社に当たりましたので、そのお話をしたいと思います。私は、デザインの勉強をしてからスクリーン印刷の仕事に入り、もう24年経ちました。このスクリーン印刷の業界誌も460号

くらいになるので長く続いています。我が社で携わったのは2~3回です。なかなか自分たちの表現を披露する機会が少ないので、面白くやっています。今回の表紙ですが、分かりにくいかもしれませんが弥陀ヶ滝です。本来なら写真のようにしたら分かりやすいのですが、それだと普通の印刷屋さん頼むのと同じようになってしまうので、4色を使って版画のようなイメージで作りました。どんどん色を重ねて表現するという形でデザインを試してみました。あまり自信はないのですが、ちょっと面白いかと思います。ちなみに、阿弥陀ヶ滝は結構有名で、葛飾北斎も「諸国瀧廻り」で「木曾路ノ奥阿弥陀ヶ滝」を描いています。色々な人が描いているということもあり、私も一つの題材として使わせてもらいました。

あと、スクリーン印刷の良さは、大きく色に乗せていくと迫力があってより表現が面白いところです。他にも、雑誌の表紙などが透明でポッコリ膨らんでいたりとか、臭いが出るインクや光を発するインクなどもあるので、スクリーン印刷はまだまだ面白いことができるのではないかなと思っています。

もう一冊、スクリーン印刷の本をご紹介します。2年前にスクリーン印刷の展示会をやった時にお世話になった、ロフロデザインの高垣さんという方が「郡上スクリーン印刷伝」という本を出版しました。この本の内容がとても深く、今自分が携わっているスクリーン印刷の歴史が改めて分かり、とても面白い本です。戦後の印刷技術がここまでになるには、色々なご苦労や研究がなされて今に至っているんだなと思いました。ぜひ読んでみて下さい。ありがとうございました。